

自衛隊、警察署

宇和島市立城北中学校 3年3組 村上 嵩昌



体験を通してどのようなことが勉強になったか？

チームで活動することが多い職業なので協調性や連帯責任の心構えが大切だと思いました。チームのみんなと厳しい訓練を乗り越えたからこそその信頼関係や友情があると教わりました。ロープワークでは、簡単さや便利さがよく考えられていました。鑑識実習では指紋、足跡の採取の仕方を学びました。

その企業を選んだ理由は何か？

僕がこの職業を選んだ理由は、国や人命を守る職業に興味をもっていたからです。西日本豪雨の被災地や毎年豪雪地帯へ自衛隊が災害派遣をされていることを知り、近くで仕事内容を見てみたいと思いました。また、昨年文化祭で警察の装備品展示を見学し、警察官について詳しく知りたいと思いました。

どのような体験をしたか？

自衛隊では、基本教練や体験喫食、車両見学・搭乗、ロープワーク、手旗信号などを体験しました。警察署では、制服を試着して活動しました。装備品見学や車両見学・搭乗、交番見学、警察船見学、鑑識実習などをしました。双方でとても貴重な体験をさせていただきました。

職場体験学習を終えての感想

自衛隊では、国家防衛のための設備が整っていたり、国家を守ってくれる自衛隊員の方々がいたりすることで、自分たちが安全に過ごすことができていることを実感しました。非常時のため日々訓練や実習を重ね、心身を鍛え技術を磨いていることが分かりました。また、PKOで国際貢献をしていることも分かりました。警察署では、常に不測の事態に備えていることを学びました。装備品も色々な工夫があり、災害時の実用性が考えられた物がありました。将来は、このような職業に就きたいという思いが強まりました。

